

第33回三遠南信サミット 2025 in 南信州

人口減少時代の広域連携

～ 持続的に成長する地域の創生 ～



主催：三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）

共催：三遠南信地域経済開発協議会

後援：経済産業省、国土交通省

13:00～14:30 (90 分)	分 科 会 ■開会宣言 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 会長 浜松市長 中野祐介 (1) 第 1 分科会 (飯田文化会館 ホール) 『人口減少時代における生活・社会インフラの活用について』 (コーディネーター) 愛知大学地域政策学部教授・三遠南信地域連携研究センター長 戸田敏行氏 (2) 第 2 分科会 (飯田人形劇場) 『人材獲得競争を克服する「稼ぐ力」の創出』 (コーディネーター) 公益社団法人東三河地域研究センター 常務理事・調査研究室長 高橋大輔氏 (3) 第 3 分科会 (飯田文化会館 会館棟 1 階展示室) 『地域の魅力を創る広域リージョン連携』 (コーディネーター) 一般社団法人ほの国東三河観光ビューロー マーケティングディレクター 田中三文氏
14:30～15:00	～ 移動 (全体会会場 (飯田文化会館 ホール) へ) ～
15:00～17:00 (120 分)	全 体 会 ■会長挨拶 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 会長 浜松市長 中野祐介 ■開催地代表挨拶 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長 飯田市長 佐藤健 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長 飯田商工会議所 会頭 原勉 ■来賓挨拶 経済産業省 関東経済産業局長 佐合達矢氏 国土交通省 中部地方整備局長 森本輝氏 長野県知事 阿部守一氏 ■列席者紹介及び祝電披露 ■講演『人口減少時代の三遠南信地域、切り拓く未来』 (講師) 藻谷浩介氏 (株式会社日本総合研究所 主席研究員) ■前回サミット後の事例報告 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 事務局長 ■分科会報告 3 分科会コーディネーター ■サミット宣言 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長 飯田市長 佐藤健 ■次回開催地代表者あいさつ 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 会長 浜松市長 中野祐介 ■閉会
17:00～17:30	～ 移動 (飯田文化会館前 市民広場へ) ～
17:30～18:30 (60 分)	交 流 会 (飯田文化会館前 市民広場) ■開会挨拶 飯田市議会 議長 竹村圭史氏 ■閉会挨拶 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 副会長 浜松商工会議所 会頭 齊藤薫

本年度の三遠南信サミットは、平成 5 年度から数え 33 回目を迎え、会場参集により開催した。
また、三遠南信サミットの分科会・全体会の様子は、サミット特設ページにて動画公開している。
(第 33 回三遠南信サミット 2025 in 南信州 特設ページ <https://www.sena-vision.jp/sena/summit/no33.html>)

1. 事業名

第 33 回三遠南信サミット 2025 in 南信州

2. テーマ

人口減少時代の広域連携 ～ 持続的に成長する地域の創生 ～

3. 開催日

令和 7 年 10 月 6 日 (月)

4. 開催会場

飯田文化会館、飯田人形劇場 (長野県飯田市高羽町 5 丁目 5-1)

5. 主な内容

(1) 分科会 13:00～14:30

① 第 1 分科会

テーマ	人口減少時代における生活・社会インフラの活用について
協議内容	人口減少時代における生活・社会インフラの整備・維持管理や活用について、各団体の課題を共有するとともに、既存の行政区域に拘らない広域的な視点で、今後の広域連携の在り方について意見交換を行った。
コーディネーター	愛知大学地域政策学部教授・三遠南信地域連携研究センター長 戸田 敏行 氏
参加者	<p><市町村></p> <p>豊橋市、田原市、湖西市、飯島町、平谷村、天龍村、泰阜村、喬木村</p> <p><経済団体></p> <p>飯田商工会議所、伊那商工会議所</p> <p><市議会></p> <p>豊橋市議会、浜松市議会、飯田市議会</p> <p><住民団体></p> <p>三遠南信住民ネットワーク協議会 2 名</p>
確認事項	人口減少時代において、公共交通や医療などの生活・社会インフラの課題を共有し、維持・管理していくために必要な連携先を共有することができた。これらの課題を個別の事業として、解決に向けた連携事業や手法で、広域的な視点も踏まえて早急に対応していく必要がある。その上で、広域

	的な連携の推進には、三遠南信自動車道をはじめとした幹線道路の整備促進が重要であり、地域が一体となって提言をしていくことが不可欠であるとする結論を得た。
--	---

② 第2分科会

テーマ	人材獲得競争を克服する「稼ぐ力」の創出
協議内容	市場縮小や人手不足などに直面するなか、ヒト・モノ・カネの好循環を地域経済にもたらすには、強みを持った産業を形成し、消費や投資、人材を呼び込むことが重要となっている。企業や地域が持つ強みを、人材獲得競争において優位となる「稼ぐ力」に昇華させる、産業形成・企業支援に向けた意見交換を行い、地域産業の持続的成長に役立てることを目的に協議を実施した。
コーディネーター	公益社団法人東三河地域研究センター 常務理事・調査研究室長 高橋 大輔 氏
参加者	<p><市町村></p> <p>蒲郡市、飯田市、駒ヶ根市、箕輪町、松川町、高森町、根羽村、豊丘村</p> <p><経済団体></p> <p>浜松商工会議所</p> <p><住民団体></p> <p>三遠南信住民ネットワーク協議会 2名</p>
確認事項	<p>協議の総括として、本分科会で確認された方向性を以下の3点に整理し、確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道路やリニアなどの地域インフラを活用し、三遠南信の交流圏・市場圏を拡大する。 2. 産業連携・技術連携を加速する。大企業と地元企業の連携により、製品・サービスの付加価値向上や人材育成・人材交流を活発化させる。 3. 「稼ぐ力」の創出を具体的に進める手段として、情報共有の仕組みも含めた、広域実行体制を構築し、「広域リージョン連携」を位置付け、「三遠南信産業クラスター会議」を設置していく。 <p>第2分科会全体を通じ、構造的な人手不足等により、労働供給制約が一層強まることを前提とし、多様な主体が地域・分野の枠組みを越えた連携を強化するなかで、地域の事業者や産業が持つ強みを最大化し、「稼ぐ力」を産み出し、人手不足の克服を可能とする、成長モデルへの転換を目指すことを結論とした。</p>

③ 第3分科会

テーマ	地域の魅力を創る広域リージョン連携
協議内容	多様な地域資源を生かした観光誘客は、関係人口の創出につながり、地域の持続的な維持・発展に寄与する一方、人口減少に伴い、民俗芸能などの文化の担い手や飲食・宿泊業の人手不足が深刻化している。地域の魅力を高め、広域での周遊観光、DX 活用などによる、地域の持続的な維持・発展につながる観光の取組について意見交換を行った。
コーディネーター	一般社団法人ほの国東三河観光ビューロー マーケティングディレクター 田中 三文 氏
参加者	<p><市町村></p> <p>豊川市、新城市、浜松市、中川村、阿智村、下條村、売木村、大鹿村</p> <p><経済団体></p> <p>豊川商工会議所、御津町商工会、湖西市商工会、駒ヶ根商工会議所</p> <p><住民団体></p> <p>三遠南信住民ネットワーク協議会 2名</p>
確認事項	<p>観光人材の人手不足の解決に向けての取組みの主な意見として、次のことが挙げられた。</p> <p>①地域内外の企業、団体、個人の参加・協力により、関係人口を創出するきっかけが必要であること。②観光業は繁閑差がある中で、短期求人等の人材を獲得する手法や工夫が必要であること。③学校交流、留学、企業研修等をきっかけに外国人人材の活用につなげること。</p> <p>他地域との連携による地域の魅力を高める観光振興の取組みの主な意見として、次のことが挙げられた。①テーマを絞り、各地域の魅力をわかりやすく伝えることでブランド力が高まること。②近接地の連携や小さな連携を積み重ねることで広域連携につなげていくこと。③関係を構築することで、数年先を見据えた連携事業を進めていく必要があること。</p> <p>三遠南信地域が一体となり、多様な主体の連携のもと、観光誘客と関係人口を創出することで、観光産業の人材確保や地域の持続的な維持・発展につながるとの結論を得た。</p>

(2) 全体会 15:00～17:00

① 来賓挨拶

経済産業省 関東経済産業局長 佐合 達矢 氏
国土交通省 中部地方整備局長 森本 輝 氏
長野県 知事 阿部 守一 氏

② 講演

演題 『人口減少時代の三遠南信地域、切り拓く未来』
講師 株式会社日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介 氏

③ 前回サミット後の事例報告

報告者 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）事務局長
【事例1】TSUNAGU 三遠南信まつり in 豊橋の開催
【事例2】遠山郷・奥山郷「山大国」交流の取組
【事例3】「県境域ビジョン」の策定

④ 分科会報告

3分科会コーディネーターによる、分科会での議論内容の共有・報告。
【第1分科会】戸田敏行氏（愛知大学地域政策学部教授・三遠南信地域連携研究センター長）
【第2分科会】高橋大輔氏（公益社団法人東三河地域研究センター 常務理事・調査研究室長）
【第3分科会】田中三文氏（一般社団法人ほの国東三河観光ビューロー マーケティングディレクター）

⑤ サミット宣言

※三遠南信地域連携ビジョン推進会議副会長の佐藤健飯田市長が代表して読み上げ

6. 当日の来場者数

来場者数 約 430 名

7. その他（関連事業：三遠南信住民ネットワーク協議会による住民セッション）

開催日時	令和7年10月6日（月）10:00～12:00
会場	丘の上結いスクエア 2 階 ムトスぷらざ多目的ホール
テーマ	人口減少時代の県境を越えた三遠南信地域の交流・連携と関係人口（ファン）づくり
協議内容	三遠南信道の整備を見据えた県境を越えた交流・連携活動に取り組む団体関係者の活動について事例報告が行われ、伝統産業の再興と親子山村留学移住者の受け入れ活動に取り組む 2 名から話題が提供された。最後に県境を越えた交流・連携と関係人口づくりについて意見を交わした。

第 33 回三遠南信サミット 2025 in 南信州 サミット宣言

日本の人口は 2011 年以降減少し続けており、地域産業、地域コミュニティの維持が地域社会の課題となっています。そこで今回のサミットは、「人口減少」を地域共通の課題として捉え、「人口減少時代の広域連携～持続的に成長する地域の創生～」をテーマとして議論を行い、我々、三遠南信地域連携ビジョン推進会議は以下の項目に重点を置き、取組を推進します。

1. 公共交通や医療などの各種インフラを維持・管理していくための課題を共有し、広域的な視点での連携に取り組みます。また、行政区域を超えた活動を推進し、圏域全体に波及させるためにも、三遠南信自動車道をはじめとした幹線道路の整備促進に向け、地域が一体となって提言活動を展開します。
2. 少子高齢化の進展に伴う構造的な人手不足等により、労働供給制約が一層強まることを前提とし、産業活性化に関わる多様な主体が地域・分野の枠組みを越えた連携を強化するなかで、地元事業者や地域産業が持つ強みを最大化し、持続的な発展の源泉となる「稼ぐ力」を産み出し、人手不足の克服を可能とする、成長モデルへの転換を図ることを目指し、新たな広域連携の仕組みを検討します。
3. 文化の担い手育成や観光産業の人材確保に努め、三遠南信地域が一体となり、多様な主体の連携のもと、地域資源を最大限に活用し、広域周遊観光の推進を図るとともに、観光誘客と関係人口の創出を通じて地域の持続的な維持・発展につなげます。

2030 年を目標年次とする第 2 次三遠南信地域連携ビジョンに掲げている地域像の実現に向け、この場を共有する全ての主体が取組を推進することを確認し、第 33 回三遠南信サミット 2025 in 南信州のサミット宣言とします。

令和 7 年 10 月 6 日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議
第 33 回三遠南信サミット 2025 in 南信州

○歳入内訳

(単位：円)

項目	令和7年度 予算額	令和7年度 決算額	説明
1 事業費	3,578,000	2,850,329	
2 参加負担金	1,040,000	676,000	交流会負担金（4,000 円×169 人）
計	4,618,000	3,526,329	

○歳出内訳

(単位：円)

項目	令和7年度 予算額	令和7年度 決算額	説明
1 運営業務委託費	1,570,000	1,566,950	サミット運営・録画 ほか
2 会場関係費	100,000	0	
3 交流会関係費	220,000	212,055	交流会会場設営費、 三遠南信地酒サミット
4 交流会飲食費	1,048,000	680,058	うち、676,000 円は参加負担金を充当
5 住民セッション 関係費	252,000	249,998	企画・運営業務委託料
6 会議費	0	0	
7 事務費	746,000	391,728	郵送費、消耗品費、振込手数料 ほか
8 謝金	682,000	425,540	分科会・全体会登壇者謝金
計	4,618,000	3,526,329	

◆チラシ



◆プログラム



◆サミット特設サイト



◆会長による開会宣言（別会場へも配信）



◆第1分科会



◆第2分科会



◆第3分科会



◆全体会 会長挨拶 (SENA 会長 中野浜松市長)



◆全体会 開催地代表挨拶 (SENA 副会長 佐藤飯田市長)



◆全体会 開催地代表挨拶 (SENA 副会長 原飯田商工会議所会頭)



◆全体会 ご来賓 (関東経済産業局 佐合局長 挨拶)



◆全体会 ご来賓
(中部経済産業局 森本局長 挨拶)



◆全体会 ご来賓
(長野県 阿部知事 挨拶)



◆全体会 講演①
((株)日本総研 藻谷浩介氏)



◆全体会 講演②
((株)日本総研 藻谷浩介氏)



◆全体会 前回サミット後の事例報告
(SENA 事務局)



◆全体会 分科会報告
(3分科会コーディネーター)



◆全体会 サミット宣言
(SENA 副会長 佐藤飯田市長)



◆全体会 次回開催地代表者挨拶
(SENA 会長 中野浜松市長)



◆全体会 正・副会長集合写真



◆交流会 出前焼肉



◆交流会 三遠南信地酒サミット



◆三遠南信関連情報展示

